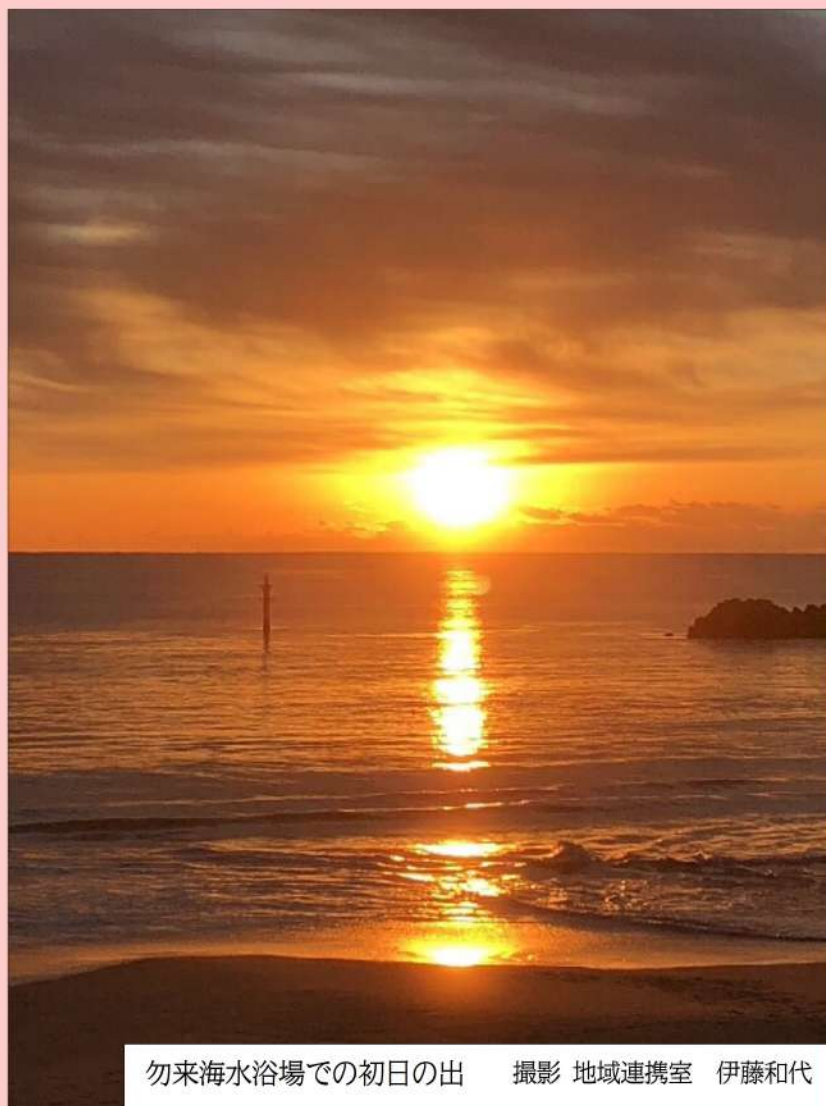




かわはた

やさしさといたわりのある医療
開かれた地域医療の為の病院



勿来海水浴場での初日の出 撮影 地域連携室 伊藤和代

< 目次 >

- 【 2023年を迎えて 】 院長 佐久間博史・・・P2
- 【 機能訓練室 ～川俣町女性講座に参加してみて～ 】 理学療法士 渡邊勇人・・・P3
- 【 地域研修を終えて 】 濟生会中津病院 中澤風香、藤吉仁史、秋月悠一・・・P4、5、6
- 【 発熱・かぜ症状の患者さんの相談・診察・検査の流れ 】・・・P7
- 【 診療予定表 】・・・P8

2023年を迎えて



院長 佐久間 博史

昨年はロシアのウクライナ侵攻や3年目に入ってもおさまる気配のない新型コロナウイルス感染症、特に秋以降は第8波が北海道・東北地方で猛威を振るい、落ち着かない1年でした。

当院のこの1年を振り返りますと、昨年7月に福島県立医科大学附属病院より渡辺浩志教授が副院長として赴任されました。当院にとって大変光栄であり、今後の病院の核として活躍されることを期待しております。また、済生会川俣病院50周年・済生会川俣地域ケアセンター10周年記念事業（新型コロナウイルス感染症のため、記念誌と録画媒体のご提供）も達成出来そうです。

新型コロナウイルス感染症によるパンデミックは4年目に入りますが、ワクチン接種の徹底や治療の選択肢も徐々に広まり、オミクロン株での死亡率も当初のデルタ株と比べて低下し、現在ではインフルエンザ並みとなり終息に向かうものと思われます。病院経営に関しては、ポストコロナの経営を考えなければなりませんし、病院の運営に関してはウィズコロナを見据える必要があります。

昨年は、スローガンに「病床稼働率の向上」を掲げましたが、新型コロナウイルス感染症の影響も多分にあり、達成に苦慮しております。また、当院診療圏の人口減少は予想を上回るスピードで進んでおりますが、医療・介護を必要とする高齢者の数は、当面は微減にとどまります。当地域唯一の入院施設である当院は、川俣地域の諸施設と緊密な連携をし、地域包括ケア病棟と在宅医療（訪問診療・訪問看護等）の充実が肝要です。

限られた人的資源ではありますが、経営効率を考えて知恵を絞りあい、病院機能を持続させると共に、当院のスローガンである「やさしさといたわりのある医療」「開かれた地域医療のための病院」を肝に銘じて、今年も全職員で頑張ってみまいます。





川俣町中央公民館から女性講座の講師依頼を受け10月26日に健康体操教室を開催致しました。女性講座は川俣町内の女性を対象に、月1回様々なテーマを取り上げ開催されています。参加者は60歳～70歳代が多いため、今回は川俣町民の皆様の健康寿命延伸に微力ながら貢献したいという思いから、スタッフと話し合い「女性におすすめ骨盤底筋体操」というテーマで準備を進めました。骨盤底筋は骨盤の一番下にあり膀胱や子宮、直腸などの臓器を正しい位置にキープする役割があります。骨盤底筋を鍛えることで尿失禁だけでなく肩こりや腰痛、ポッコリお腹や便秘等の予防になると言われています。

開催まで限られた期間でしたが、各々テーマについて調べ意見交換を行いながら資料を作成し、実際に運動を実施しながらプログラムを立案しました。参加する方々の身体能力や体力をイメージしながら負荷量と回数、時間等を調節し効果と疲労度の検討を繰り返し行いました。

女性講座当日は、活気のある10名の皆さんにご参加いただき、座学と体操の二部構成でプログラムを進行しました。

第一部の、座学では実際にどの年齢層でどのくらいの割合で尿失禁を経験しているか調査したデータについてお話ししました。調査によると、40歳以上女性の約4割が尿失禁を経験しており、70歳以上女性で1回/週以上の失禁を経験される方は、全国で500万人以上いることが報告されています。症状が軽度から中等度であれば、脆弱化した骨盤底筋を強化することによって、6～8割が改善可能と言われている報告もあります。参加された皆さんが関心を持ちながら話を聞いている姿がとても印象的でした。

第二部では、実際に体を動かし体感することで、運動と呼吸の関りが深いこと、骨盤底筋と正しい姿勢には密接な関係があることを理解してもらいました。

講座終了後に参加者からは「お尻がギューツとしまったわ。また、お願いね。」といった温かい言葉をかけて頂きました。

また、健康体操教室を開催する機会がありましたら、ぜひ多くの方に参加して頂ければと思います。



ちょっとしたスキマ時間に
日頃から簡単な運動を心がけましょう!!



地域研修を終えて — 大阪府済生会中津病院 研修医の先生方より —

令和4年度、地域医療を学ぶために中津病院より研修医3名が来院されました。各先生方から3週間の研修を終了しての感想をいただきましたのでご紹介します。

(※研修医の先生方にはPCR検査を行った上で研修に臨んで頂いております。)

初めに今回、このような貴重な研修の機会をいただけたことに感謝いたします。

今回の研修では、都市部病院との違い、地域の方と医療者との関わり方、在宅医療を学びたいと思っておりました。実際に、川俣病院で外来や訪問診療、施設回診などたくさんの医療現場に同行させていただきました。

まず印象に残っているのは、春日診療所での研修です。ホールボディカウンターでの線量測定や食品モニタステーションを見学させていただき、地域住民の方が安心して地元の食品を食べることができるようにする設備があること、ほとんどの食物はもう基準値以下になっていて食べられることなど、たくさんの貴重なお話を聞かせていただきました。

次に、患者さんの自宅に訪問診療や看護・リハビリなどで伺わせていただき、在宅医療の現場をしっかりとみることもとてもいい経験になりました。

普段、病院で診る患者さんはほんの一面であり、住宅環境や家族、どんなごはんを食べているのかなど、患者さんにより良い医療を提供するためには患者さんとたくさんお話して、患者の背景を知ることがとても大切だということを改めて学びました。川俣病院のスタッフの方は、外来でも在宅でも患者さんと丁寧に向き合い、小さな問題に対しても真摯に向き合っており、患者のために貢献しようとしておられ、自分の中でも新たな学びがありました。一見雑談に見える会話でも、その中でその患者さんの生活やニーズにあった地域医療を提供されており、信頼関係を築いていると思いました。私自身、普段の業務でも忙しくなるとできるだけ早く患者さんを診ていくことに重点を置きがちになってしまうこともあり、反省もありました。

川俣の方々スタッフや患者さん含め皆さん明るく優しい方ばかりで、いつも笑顔で挨拶をしてくださったり、話しかけてくださってとても楽しく研修させていただきました、本当にありがとうございました。短い間ではありましたが、初めて訪れた福島県の魅力もたくさん知ることができ、大変密度が濃く学びが多い研修でした。コロナ禍の大変な状況の中にもかかわらず、受け入れにご協力いただいた全ての方々に感謝申し上げます。



研修医 中澤風香



訪問看護同行



褥瘡回診



施設訪問

まずは一ヶ月間貴重な時間を過ごさせていただき、また、病院で働くみなさんに気にかけていただき、大変感謝しております。地域医療における外来や、カンファレンス、在宅や施設訪問、離れた診療所での外来等経験し、地域医療ならではの人の温かみ、ぬくもりに触れました。特に在宅訪問では看護師や介護士の方々が患者さんや家族の人の性格を把握し、状況を改善するために動かれている姿勢が印象的でした。相手のことを思って仕事をされているからこそ、大変な服薬管理や環境整備、介護等を穏やかな雰囲気の中で行えているのだと思いました。また、外来では先生方が患者さんと話す時間を大切にされている印象を受けました。病気についてだけではなく生活の一面まで話を伺っている印象で、患者さんの心配事や不安を傾聴するたびに患者さんの表情も和らいでいる印象を受けました。私も医療関係者の一人として、相手の立場になって考える、仕事するという姿勢を忘れたくないと強く感じました。

初めての福島県は大震災の名残を感じる場所が未だに残されており、また、多くの人に当時の思いや環境について教えていただき、どれほどの威力であり、被害をもたらしたのかを身を持って感じました。野菜の放射線量の調査や、子どもたちの検診等、残された課題はいくつも残されていると感じました。

川俣病院で研修させていただき一番感じたことは、みなさんが優しく、温かい心を持っていることです。地域の医療に根付いているからこそ、お互いがお互いを支え合っているのだと感じました。特に挨拶が印象的で、当たり前になみなさんが出会うたびに挨拶されている姿は素敵で理想的な環境だと感じました。実際帰阪し、働いていると、挨拶が少ないように感じる事が多く、自分から積極的に挨拶するようになりました。短い間ではございましたが、一ヶ月間本当にお世話になりました。感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



研修医 藤吉仁史



山木屋診療所



眼科手術後

初めに、今回の地域医療研修を受け入れてくださった済生会川俣病院の関係者の皆様、この度は大変お世話になりました。誠にありがたく感謝申し上げます。川俣病院での3週間は大変充実したものでした。

何よりも感じたのが、外来患者さんの方言が強く言っていることの半分近くが分からなかったということです。初めの1週間近くは理解に苦労しましたが、次第に先生との会話の流れからなんとなく理解できるようになってきました。地域で医療することの一番の難しさを研修早々に実感しました。また、外来患者の多くが高血圧、糖尿病、脂質異常症を併存症として持っており、開業するとなった際には上記の疾患に対する治療の病識が必須であると感じました。これは地域に関わらず必要不可欠となってくると考えられますが、地域ならではの蜂や虫、動物に噛まれたなどの病歴で病院にやってくる患者の多いことに驚かされました。大阪の中心の病院で1年半近く研修医として働いていましたが、このような病歴はほとんど見たことがなかったです。そして何より、川俣病院内のスタッフに若者が不足しているように感じました。地域の病院において医師、看護師を筆頭にその他の医療関係者のリクルートは非常に難しいことだと考えさせられました。「若者は地域で働きたいと思う人は少ないが、地域に根ざした病院は必ず必要である。」今後の川俣病院の展望を総務課の方や医療スタッフと話していて、都会の病院には無いような悩みが尽きないということを感じさせられました。

最後に、3週間でたくさんの方々にお世話になり、食事会なども開いてくださり、車も貸して頂けたので地域の観光名所などにも足を運ぶことができ、何不自由ない充実した時間を過ごすことができました。福島県の川俣病院で地域研修することができて良かったと心から思います。本当にありがとうございました。後輩にもしっかり伝えて今後の地域研修もより良いものになるように努めて行きたいと思えます。



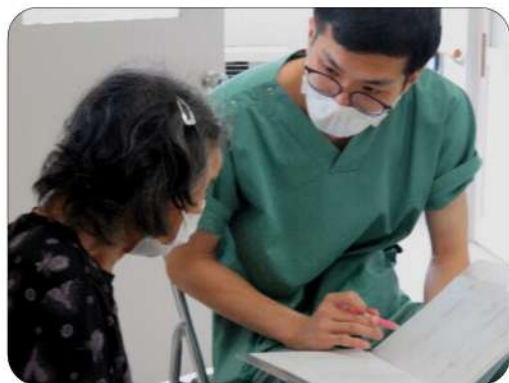
研修医 秋月悠一



施設訪問



褥瘡委員会



山木屋診療所

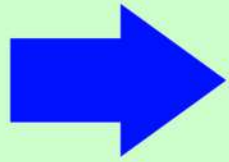


訪問診療

研修医の先生方お疲れさまでした。

発熱・かぜ症状の患者さんの相談・診察・検査の流れ

発熱・かぜ症状（せき、鼻汁、のどの痛み）がある場合・・・



事前に **お電話にて** 問い合わせをお願いします。

TEL:024-566-2323

電話での問診後、受診のご案内致します。



①電話で症状のある患者さんから
患者基本情報や簡単な問診を行います



②外来看護師が患者様へ折り返し
連絡を取り、詳細な聞き取りを
行います



③担当医師に相談しトリアージ
※発熱外来の担当看護師はPPE
(個人防護具)を装着して待機



患者さんが車で到着/誘導/車内待機
(ドライブスルー検査)

④感染症検査
(検体棒で鼻の奥の粘液を拭って採取)



⑤担当医師による結果説明と診察

会計担当より電話連絡後お支払い、処方薬は薬剤師より手
渡し致します。(車内でお待ちいただきます)

外来診療予定表

令和5年3月1日より

		受付時間	月	火	水	木	金	土	
内科	午前	一診	8:45~11:30	佐々木俊教	数田 良宏	佐々木俊教	大庭 敬	大庭 敬	大庭 敬 佐々木俊教 数田 良宏 (交代制)
		二診	8:45~11:30	角田理恵子	君島 弘子	渡辺 浩志	君島 弘子	第1・3・5 佐久間博史 第2・4 君島 弘子	佐久間博史 渡辺 浩志 (交代制)
		三診	8:45~11:30					福島医大 大平 弘正 (不定期 予約)	
		循環器	8:45~11:30		福島医大				済生会福島 山口 修 第2
	予約	第1	8:45~11:30						福島医大
		第2~5	8:45~11:30					福島医大	
		糖尿病 外来	8:45~11:30				済生会福島 本間美優樹 第1・3		
午後	一診	13:00~15:30	渡辺 浩志	福島医大	数田 良宏	佐久間博史	君島 弘子		
	予約	13:00~15:30					福島医大		
外科	午前	8:45~11:30		福島医大	芳賀 志郎		済生会福島		
	午後	13:00~16:00		福島医大					
整形外科	午前	8:45~11:00	福島医大		福島医大 第1・3・5			福島医大	
泌尿器科	午後	13:00~16:00	山中 直人 診 察 14:30~				山中 直人 診 察 14:30~		
眼科	午前	8:45~10:30				福島医大 (予約)		福島医大 第4 (予約)	
	午後	13:00~15:00			福島医大 (予約)				
皮膚科	午後	13:00~15:30		福島医大 (予約)					



済生会川俣地域ケアセンター

済生会川俣病院

電話：024-566-2323

ホームページ <http://www.kawamata.saiseikai.or.jp/>

済生会春日診療所

電話 024-566-2707

川俣町国民健康保険山木屋診療所（指定管理）

電話 024-563-2024

介護老人保健施設 めがみ

電話 024-566-2661

特別養護老人ホーム はなづか

電話 024-566-2661

養護老人ホーム 済生会川俣光風園

電話 024-566-3221

済生会川俣光風園訪問介護事業所

電話 024-538-0035

済生会川俣訪問看護ステーション

電話 024-566-2323

済生会かわまた居宅介護支援事業所

電話 024-566-2657

川俣地域包括支援センター

電話 024-538-2600

済生会川俣病院指定訪問リハビリテーション

電話 024-566-2323